

令和7年 日本老年泌尿器科学会研究助成 募集要項

1. 対象領域

老年泌尿器科学に関連する臨床的研究

2. 対象者

- 1) 主任研究者は日本老年泌尿器科学会（以下「本学会」という）の正会員であること。
- 2) 過去に本助成金を受けた者は、申請段階で研究が終了していること。
- 3) 同じ研究内容で他の助成金を受けていないこと。
- 4) 共同研究として、特定企業から研究費を受けていないこと。
- 5) 当該施設で倫理審査等受け、承認されていること。

3. 推薦者

本学会の評議員とする。

4. 研究助成件数及び研究助成金

3件以内、1件当たり50万円以内、助成金総額100万円以内とする。

5. 応募方法

- 1) 所定の応募用紙に必要事項を記入し、PDFファイルに変換したものをe-mailで事務局宛に送付する。応募書類はA4サイズ3枚以内とする。（用紙は、本学会ホームページからダウンロードする）
- 2) 「助成金の使途」の記載内容は、重要な審査項目となる。下に示す記載例を参考に、研究に必要な費用について、個々の予算がわかるように具体的に記載すること。
- 3) 備品（特にパソコン、解析ソフトなど）、学会への参加費・旅費に関しては、各々総予算の25%を上限とすること。研究の遂行上これを越える必要がある場合は、その理由を明記すること。
- 4) 決算が上記の上限を超えた場合には、超過分の返還を求められることがある。

記載例：○×△測定用キット	xxxxxxx 円
被検者用アンケートの印刷用インク・用紙	xxxxxxx 円
研究成果発表のための旅費（○○学会）	xxxxxx 円
英文校正・論文投稿費用	xxxxxx 円
画像・音声データ保存用外付けハードディスク	xxxxxx 円

6. 公募期間

2024年12月2日（月）～2025年2月21日（金）必着

7. 選考方法

医師枠、医師以外枠で別々に審査し、本学会の理事会において選考の上、評議員会で決定する。
なお、一定の基準を満たしていない場合は【該当者なし】とする場合もある。

8. 採否の通知

決定後速やかに主任研究者に通知する。

9. 助成金の交付式

第 38 回日本老年泌尿器科学会席上で行う。

10. 助成金の使途

- 1) 助成金は、研究者の責任において応募用紙の記載に従って使用すること。
- 2) 使途を大幅に変更する場合は、理事会の承認を求めること。
- 3) 承認なく大幅な変更を行った場合や余剰金については、助成金の返還を求める。

11. 研究成果の報告

- 1) 助成を受けた者は助成を受けてから原則 2 年以内に概要を 2000 字前後と図表 3 枚程度にまとめ、理事長宛に報告書を提出すること。
- 2) 報告書は学会誌 2 号（秋季号）に掲載される。
- 3) 報告書は学術論文としての形式を有さず、査読を経ていないので、他誌に原著論文として掲載されても本誌は二重投稿とはみなさない。但し、他誌から二重投稿の疑念を持たれないように配慮すること。
- 4) 研究期間終了後で最も早い日本老年泌尿器科学会の研究助成報告セッションにおいて研究成果を発表すること。
- 5) 発表の際には“日本老年泌尿器科学会研究助成金の援助による”旨を添えること。
- 6) 論文として出版された場合は、別刷りを一部事務局に送付すること。

12. 会計報告

研究終了後、会計報告書（別紙）を理事長に提出すること。

13. 応募用紙送付先・問合せ先

日本老年泌尿器科学会事務局（代行）

〒113-0033

東京都文京区本郷 2-27-18 本郷 BN ビル 2F

医学図書出版株式会社内

Tel : 03-3811-8210 Fax : 03-3811-8236

E-mail : jsgu-hq@umin.ac.jp